



活動中の見守り隊

は男達の井戸端会議です。どこその親父さんが具合悪いようだとか、あそこの夫婦あんまり仲が良くない様だなどコーヒーを飲みながら話をしていると子供達が帰ってきます。挨拶も出来る様になりました。学期毎に我々も反省会(飲み会)を行い来学期に備えます。今年孫が入学します。見守り隊はあと6年頑張るつもりです。79才か、持つか？何をすることも最初は張り切って事に対処するの

で続くのですが、継続させて行く事は本当に大変です。次の世代の人達に理解をして頂き続けて頂きたいものだと思っております。

三丁目の皆様のご協力を頂き、区長を無事退任します。8年間の長きにわたり有難う御座いました。

桜台子供会冬のレクリエーション

レクリエーション

桜台教育部 留場春奈

コロナウィルス・オミクロン株の話題が尽きない現在ですが、今年の12月19日コロナが少し落ち着いていた時期でもあり桜台子供会の冬のレクリエーションを行ないました。

桜台自治会の高橋修さんの木の実細工のお話を聞き、是非にと思いい依頼しました。

コロナの影響もあり参加者はあるのだろうか不安がありました。コロナ禍であっても人との繋がりを大切にしたいと行われた夏のレクリエーションの効果もあり、70人近い参加者となりました。密を避け当日は、午前と午後の2回に分け検温・消毒・換気を徹底しました。

いよいよ工作が始まると、子供

たちは松ぼっくりやドングリを前に何をしようかと真剣な表情で考えていました。が、少しすると目をキラキラさせてボードでくつつけたりペンドで描いたりアイディアが次々と浮かんでいくように楽しそうに作りあげていました。

そんな子供たちを嬉しそうに見ていた保護者達も気が付けば真剣に工作していたのには驚きでした。

友達がどんなものを作っているのか気になって見に行ったり、思うように作れず苦戦していたり、友達同士でアドバイスをしあったりと微笑ましい光景でした。

出来上がった作品は、みな様々で子供たちの想像力には本当に関心させられました。

その後は、お待ちかねのビンゴ大会。ビンゴになった順にいろいろとあるプレゼントの中から、それぞれ選んでいくのですが、大きさや重さで選んだり中身をどうにか探そうとしたり、見ている私達も楽しい時間となりました。

この冬のレクリエーションを終



子供たちの活動の様子

え一番に思う事は、保護者間の繋がりが、子供たちとのふれあいは気持ちを豊かにするのだと改めて実感したことです。

まだまだコロナが落ち着かず学校も臨時休校を余儀なくされました。そのような中であっても子供たちの健やかな成長のために、繋がりを大事にする活動を、これからも自治会の皆様のお力をお借りしながら提案していけたらと思えます。

◆編集後記

このコロナ禍で、従前の活動がしにくい状況下、皆さん工夫を凝らして活動なさっていることがおわかりいただけると思います。どうぞご覧下さい。そして、寄稿して下さい下さった方々に御礼を申し上げます。

編集長 鈴木 守